

NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。
ニュースレター アイデア

idea

2013
9月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター

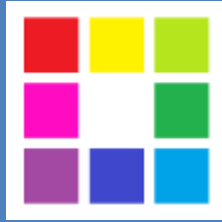


～ も く じ ～

- 2 | いちのせき市民活動センター活動紹介
- 3 | 団体紹介～花泉町先人顕彰会 ～(花泉)
- 4 | 地域紹介～千厩地区1-1区自治会 ～(千厩)
- 5 | 企業紹介～有限会社 及川石材店～(室根)
- 6 | 歩が行く～石磨き大会 ～(大東)

いちのせき市民活動センター

活動紹介



- ①市民活動相談支援
- ②情報発信・収集、啓発支援
- ③地域への参画支援
- ④話し合い支援
- ⑤他事業との連携
- ⑥地域協働体への組織づくり支援

いちのせき市民活動センターが、
行っている活動の御紹介をいたします。

今年度の話し合いのテーマは

7月7日、室根ふるさとセンターを会場に、FMあすもの河合純子パーソナリティーと、小野寺浩樹副センター長による対談講演会が行われました。室根町婦人協議会の会員28名を前に、「人そだて地域そだて」でつかくなった一関をちっちゃくしようこの指とまれ」を演題に1時間ほど対談。一関の地域づくりに関係したことや、河合純子さん自身のこと、現在室根で行われている室根まちづくり協議会の話も出され、質問や意見交換を積みながら、参加者の方々は楽しそうに講演を聴いていました。この対談は、女性活動の活性化を図ることを目的に、リスナーさんから依頼を受け実現した講演です。人前での対談は新鮮で、雑談も含めて楽しく行わせていただきました。

講演依頼 室根町婦人協議会講演会



話し合いの様子

いちのせき協働ニュース

一関市の協働推進課では、市が進めている「協働」について、市民のみなさんに理解を深めていただくため、いちのせき協働ニュース「輪っしょい」を8月上旬に発行しました。「輪っしょい」第1号となる今回の中身は、川崎まちづくり協議会の紹介、東山・藤沢・花泉・千厩地区で積極的に地域活動を行う団体の紹介、最後のページには当センターの紹介記事が掲載されています。当センターは、市と住民が行う話し合いや懇談会、説明会に中間支援として参加させていただき、話題提供やワークショップの実施等を通じてサポートしています。次号の「輪っしょい」では、そういったセンターの活動を記事にし、より具体的な内容をお知らせする予定です。

協働への取り組み 協働ニュース



「輪っしょい」8月号

情報提供とマッチング

宮城県で活動を展開している「NPO法人アスイク」は、経済状況による学習機会の格差を無くすため、生活困窮世帯の子ども達に低価格で学習サポートを行っている団体です。対象は、就学援助や授業料減免、生活保護や児童扶養手当を受けている方、被災により仮設住宅に住む方で、いずれも小学5年生～高校生であること。今後は岩手県への事業展開を考えており、アスイクと共同で運営してくれる団体や個人の方の情報を集めにセンターへ来所されました。スタッフは、「いちのせき市民活動便利帳」を渡し、数団体をピックアップして情報を提供。また、陸前高田まちづくり協働センターやいわて連携復興センターとのマッチングも視野に入れながら活動を見守ります。

窓口業務 事業所の個別相談



相談の様子

花泉町先人顕彰会

団体 紹介



佐藤又彦 さん

～基本情報～

- ◆会長：千葉達夫さん
- ◆事務局：佐藤教昭さん
〒029-3103
一関市花泉町老松字水沢屋敷 161-2
TEL：0191-82-3382
- ◆事務局補佐：佐藤又彦さん

地域をつくった先人達の歴史を学び、
その偉業を現代へ語り伝えます。

花泉町先人顕彰会とは

平成2年に発足した花泉町先人顕彰会は、花泉町が生んだ先人の顕彰活動を通じ人材の育成に資するとともに、地域の活性化と連帯感を培うことを目的に活動しています。主な事業内容は、先人の遺産と研究資料の保存及び先人の業績の広報啓発活動、顕彰推進に係る関係機関・団体との連携や会員の研修事業等。会員は花泉町内出身・地区外出身を合わせ合計234名で組織。その中でも、今回取材にに応じていただいた佐藤又彦さん（84歳）は団体発足当時から会員で、現在は会の常任理事兼事務局補佐を務めています。花泉町出身・花泉町育ちで、地域の歴史に興味を持ち始めたのは大人になってから。同団体の他に「東磐井史学会」「岩手県南史談会」という歴史研究団体にも所属し、年齢を感じさせないほど元気で、優しい笑顔が印象的な方です。

研修を通じて学ぶ地域の先人

同団体の年間活動は、4月に始まってから6月に総会、秋は地区内・

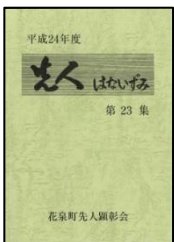
外の探訪、冬には役員研修会や花泉町先人顕彰発表会並びに講演会を開催。平成24年度の地区内探訪では、老松地区のお宝マップに沿い、神社や城跡をはじめとする7箇所を訪問し、地区外探訪では、宮城県などの東和町米谷東陽寺や日和山公園など、その地域にゆかりのある場所8箇所を見てまわりました。その中でも佐藤さんが特に印象に残っている場所は、河南町須江糠塚です。ここは、かつて伊達政宗が宮城県周辺の殿様を一網打尽にしようと策略を企てた場所で、政宗の口車にまんまとのせられた殿様達が河南町須江糠塚に集まったところ、下から政宗の家来に一齐攻撃され、ほとんどの殿様がここで命を落としてしまいました。「政宗は策略を練る力が長けており、非常に頭が切れる武将だったんだよ」そう話す佐藤さんの言葉からは、歴史のロマンを強く感じさせられるようでした。

また、冬に行った花泉町先人顕彰会発表会では、佐藤さん自ら江戸時代の医者「佐々木壽仙」についての研究成果を発表。佐々木壽仙は建部清庵の弟子であり、一般的に多くても20点ほどしか残されていない200年前の診療カルテが、子孫の方

の手により175点も綺麗な状態で保管されていた上、診療時期・身分・名前・年齢・性別・居住地・症状・治療までもがこれほど多く、細かく記録されているのは非常に稀とのこと。この発表会の後には、平泉町役場の職員を講師に迎え「世界遺産平泉と花泉」をテーマに講演会も実施。このような発表・講演会を通じ、会員は地域の歴史を研究し知識を深めていきます。

集大成「先人はいないぞみ」

同団体が行う活動は、毎年6月に発行する「先人はいないぞみ」にまとめられ会員内で共有するほか、一部の研究内容は、平成25年7月末発行の油島公民館報「なのはな」でも紹介されました。佐藤さんは、「会の活動に対する抱負はたくさんあります。ただ、会員の人数が少しずつ減り、平均年齢も高くなってきている。できれば、若い人も地域の歴史に興味をもって研究してほしい」と、今後の活動に対する想いを話してくれました。



平成24年6月発行
「先人はいないぞみ」

千厩地区1-1区自治会

地域紹介



照井秀子さん（左） 都築順子さん（右）

～基本情報～

◆自治会長 照井秀子さん

民生委員 つづき 都築順子さん

◆249世帯 631人が暮らす千厩地区1-1区。

「自治会活動には全戸参加」を目標に奮闘中の自治会長の照井秀子さんと民生委員の都築順子さんにお話を伺いました。

～ご近所同士の見守り・助け合いで繋がる地域の絆～

地域のつながりを育む

まごころ交流

千厩地区1-1区は、県道267号松川千厩線を挟んでまち場と中山間地域が混在するとても広い地域です。自治会内各班の班長が、一人暮らしや高齢者だけの家を見回り、声かけをする「まごころ交流」は、照井さんが自治会長になった翌年の平成21年から始まった活動です。

まごころ交流を始めたきっかけは、照井さんが自治会長になって間もない頃に起きたお隣の同級生の孤独死。2晩ほど部屋の明かりが点いていないことに気づいていた住民もいましたが、普段あまり交流がなかったのでまさか亡くなっているとは思わず、あまり気にしませんでした。その後、自治会内の市営住宅でも孤独死があったことを受け、自主防災活動の一環としてまごころ交流を始めました。今年で5年目を迎え、班長が1周した班もあり、近所で暮らす高齢者の把握は以前よりも進んでいます。1-1区の民生委員を務める都築さんは平成23年の東日本大震災の時にまごころ交流の効果を強く実感したと語ります。自治会内のお年寄りの安否を確認しに行った時に、班内の若者が既に駆けつけており「ここは自分たちが見ているから大丈夫」と言われ、とても心強いと思うと共に、まごころ交流を続けていてよかったと

感じたそうです。

こうした活動を長く続ける秘訣は「無理をしない・させないこと」。世帯数が多い班では、班長だけでなく班内で分担し、対応が難しいと感じた人に対しては親しい人に見回りをお願いするなど、班長だけに負担がかからないよう協力し合っています。

高齢者も活躍する自治会活動

自治会内のサロン「ひまわり会」では、小学校の下校時間に通学路の見回り活動も行っています。この活動は、自治会区域内で不審者の声掛け事案が発生したことをきっかけに、千厩地域のボランティアによる見回りにも限界があることを感じ、自治会サロンで当番制での見回りをすることにしたのが始まりです。主に60歳以上の方が活動するサロンですが、必ず2～3人での見回りなので、外に出て会話を楽しむ良い機会にもなっており、「調子の悪い日や天気の良い日は無理に出なくてもいいんだよ」と話しても、ちよつとやそつとのことでは休まないとのことでした。

自治会だよりは学校の先生を退職された方と事務局が協力し、年に約4回発行しています。

地域行事だけでなく、「我が家の防災」のコーナーで自治会内から毎号

1軒取り上げ、備えている防災用品や心構えを紹介したり、「事業所等紹介」や「頼りになる人」のコーナーでは地区内で活躍する人達を取り上げたりと、とても充実した内容になっています。また、どれも取材を受けた人の写真も載っており、顔の見える関係づくりに一役買っています。

大切なのは日頃の交流

とても気さくに取材に応じてくださった照井さんと都築さん。お二人は取材中に何度も「若いうちは何でも自分でできるかもしれないが、いつかは人の世話になる。いざという時に頼りになるのは遠くの家族より近くの他人。だから、普段から近所の人との付き合いを大切にしたい」と話していました。

取材後に照井さん宅に近所の方々がお茶を飲みに来て楽しく談笑する姿を見て、日頃の交流や助け合いの精神が育まれている1-1区自治会なら、照井さんの目標である「自治会活動には全戸参加」が実現する日も遠くないのではないかと感じます。



「本人から聞いて書く」「無理強いをしない」等のメモが書かれたまごころ交流記録

有限会社 及川石材店

企業 紹介



代表取締役社長 及川 豊さん

～基本情報～

- ◆代表取締役社長：及川 豊^{のぼる}さん
- ◆事業所：〒029-1211 一関市室根町津田川字竹野下 135-2
- ◆TEL：0191-65-2512/FAX：0191-65-2513
- ◆展示場：〒029-1202 一関市室根町矢越字高沢 224-1
- ◆TEL&FAX：0191-64-3335

もっとも身近で信頼される地域の墓石店

三代続く地元の墓石職人

悠々とそびえ立つ室根山で有名な一関市室根町は「室根石」という光沢のある石でも脚光を浴びてきています。室根石（自然石）は、御影石と呼ばれる花崗岩で、石の川とも呼ばれる玉石群の露出が同町の数箇所でも見られるとのこと。そんな、地元産室根石を取り扱う墓石店が有限会社及川石材店です。

昭和8年、同町津谷川に先代の墓石職人が藤沢町から婿入りし、二代目の婿職人が石を切る機械を導入。

昭和56年、御縁あって福島県の二本松から室根町にきた現社長の及川さんがそれを引き継ぎ、平成10年に有限会社及川石材店を立ち上げました。及川さんは、「室根地域は、人々との繋がりがとても深く、暮らしやすい地域」と語り、先代から引き継いだ地元ならではの職人技を守るだけでなく、平成22年3月には、気仙沼街道284号線沿いの産直「旬菜館」斜め向かいに、墓石等々の展示場を開店し、さらなる「身近な地元の石材店」として地域の方々に親しまれています。

石窯ピザを食べべでけらいん

同社は、室根総合開発株式会社主催している「春のむろね石まつり」で、石窯ピザの無料振る舞いに参加しています。このきっかけとなったのは、及川さんが「地域の方々にもっと地元石に親しんでもらいたい。何かできることはないか？」と感じていたことから始まりました。そんな中、石問屋の展示会でピザ焼き用の石窯と偶然に出会ったのです。「これだ！」と直感し、その足で栃木まで行き石窯制作を学びました。その後、室根地域内のイベントで、来場した地域住民などに日頃の感謝をこめ、数量制限はありますが、石窯を使用した本格ピザを無料配布したり、室根夏祭りでも販売したりと、地域住民が墓石以外でも地元の石の良さを感じてもらうきっかけづくりを行っているのです。

出合いの数だけ物語がそこに

震災後、地域住民だけでなく沿岸部の方々とも触れ合う機会が多くなった同社は、チェンソー彫刻家の城

所氏の被災地復興支援製作「龍王プロジェクト」にも参加。このプロジェクトは、被災地の木材を使用し、祈りを捧げるモニュメントを製作するもので、平成24年6月に宮城県気仙沼市本吉町の浄勝寺でそのイベントが開催されました。当日、同社は被災地の木材運びに協力。運ばれた木材は彫刻家の見事なアートで力強い龍王に変化したのです。

お墓づくりを行っている中で地域住民との様々な出合いがあったと振り返る及川さん。「供養の手助けをさせていただいている中で、『おかげさまでした』と言われると、やりがいがありますね。」と笑顔で語っていたことができました。



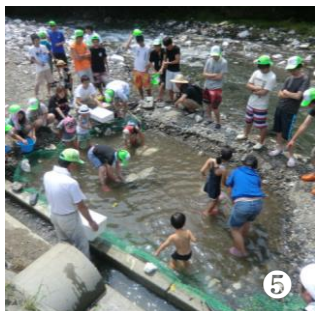
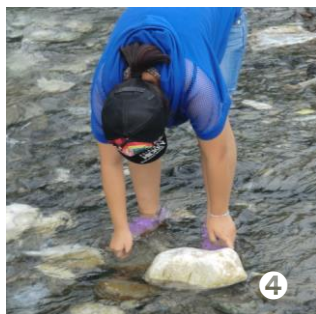
墓石の土台となっている室根石は迫力満点でした



◆◆◆◆センタースタッフの体験レポートです◆◆◆◆

歩 が 行 く

◆一関市大東町大原「石磨き大会」に参加してきました◆



① 昨年の idea で自治会の取材をさせていただいた、一関市大東町の下内野自治会。下内野の地域は、清流「砂鉄川」の上流に位置する地域で、かじかの里としても有名です。

② 石磨きとは、河川環境の大切さを学びながら水質保全の住民意識を高揚し、川をきれいにする活動です。この「古縄たわし」を用いて川の石を磨きます。

③ 都市と農村の交流の場ともなっている「石磨き大会」は、日本大学の学生さんも参加し、今年で 20 回目を迎えました。

④ 一生懸命、石をきれいにしているのは、私の愛娘でございます。

⑤ 石磨き後は、下内野自治会のみなさん、日本大学のみなさんとの交流会が開催されました。この写真は、地元の子どもたちとイワナのつかみどりをしているところです。

⑥ 捕まえたばかりのイワナを住民の方々にさばいていただき、炭火焼に・・・ありがたく、ありがたくいただきました。イワナよ！ありがとう！

■ 継続は力なり

長い長い梅雨が明け、あつという間に真夏日となりました。「暑いですがね〜」が日常のあいさつとなっていていますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？さて、今回の歩が行くは、昨年の自治会紹介ページで紹介させていただいた下内野自治会主催の「石磨き大会」へお邪魔しました。

今日の石磨き大会は、絶好の石磨き日和で、気温は 32℃・・・川はとてもきれいでした。足をそつと川につけると、暑さを忘れるくらい、ひゃつこく”（冷たくて）川の流れる音にも癒されてきました。

このイベントは平成6年から日本大学河野先生の指導のもとで、自治会住民が協力しあい開催しています。自治会長の勝部さんは「大雨による水害もあったことから開催できるか不安もありましたが、記念すべき第20回目を迎え、継続してきた達成感があります。地域活性化のためにも今後も続けていきたいです」と笑顔で語っていただきました。

■ 出会いに感謝

イワナのつかみどりでは、地元の小さな子どもたちや日本大学の学生さん、また一般参加の子どもたちを含め大盛り上がり。「ぬるぬるして、お魚が捕まえられないよ・・・」と、我が家のおチビちゃん。五感をおもいきり使った自然体験は、夏の良き思い出となったのでは？と、母心で感じています。最後に、自治会長さんをはじめ、下内野地域のみなさん、日本大学の河野先生そして学生のみなさん、「これも何かの縁だから」と、貴重なお話や体験をさせていただきありがとうございました。

イベント ボランティア 情報コーナー



残暑おみまい
申しあげます



いちのせき市民活動センターの
講座のお知らせです。受講料は
無料ですのでお気軽にお問い合わせ
ください。



ファシリテーション講座

団体運営や地域づくりに会議は欠かせません。参加型会議の進め方について基礎的な技術を体系的・体感的に学びます。

【日時】平成 25 年 9 月 12 日 (木)
午後 1 時～午後 5 時
【場所】なのはなプラザ 4 階 会議室
【料金】受講料無料
【問合せ】いちのせき市民活動センター
【電話】0191-26-6400 (一関)
0191-48-3735 (千厩)

地域づくり講座 II

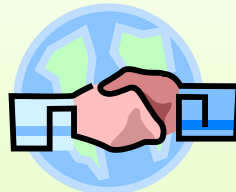
【世代間ワークショップ】自治会役員世代から地域の未来を担う子どもたちまで幅広い世代で自治会活動について考えてみませんか？※実際に自治会行事を考えるため自治会単位での参加をお願いします。

【日時】平成 25 年 9 月 19 日 (木)
午後 5 時半～午後 8 時半
【場所】千厩公民館
【料金】受講料無料
【問合せ】いちのせき市民活動センター
【電話】0191-26-6400 (一関)
0191-48-3735 (千厩)

団体運営のリスク管理講座

NPO 交流活動センターの久保協一さんを講師に、NPO などの諸団体が主催する事業等で、活動中に起こりうるトラブルへの対応など、リスクの対応力が学べます。

【日時】平成 25 年 9 月 28 日 (土)
午後 2 時～午後 5 時
【場所】なのはなプラザ 4 階 会議室
【料金】受講料無料
【問合せ】いちのせき市民活動センター
【電話】0191-26-6400 (一関)
0191-48-3735 (千厩)



一関市管内で活動している地域
団体のボランティア募集です。
詳細等はお問い合わせ先にご確
認ください。



一関市少年少女発明クラブ

一関市少年少女発明クラブでは、少年少女に対する“ものづくり”の指導をしてくれる有償ボランティアを募集しています。

【日時】毎月 2 回程度 (土日)
1 回/2 時間程度
【場所】発明クラブ教室、一関公民館、
真柴コミュニティセンター
【報酬】2 時間で 1,000 円ほど
【問合せ】一関市少年少女発明クラブ
事務局 千葉 邦夫
【電話】0191-26-4928

お弁当屋さんのボランティア

NPO 法人ワークハウス雲では、同法人が運営する「雲の弁当屋」の簡単な調理やお弁当の配達を手伝ってくれるボランティアを募集しています。下記までお気軽にお問い合わせください。

【日時】毎週火曜日・金曜日
午前 10 時～午後 1 時
【場所】雲の弁当屋とその周辺
【報酬】交通費 (要相談)
【問合せ】NPO 法人ワークハウス雲
担当 渡邊 知子
【電話】090-7073-4985



9月のイベント情報です。いちの
せき市民活動センター及び千厩
サテライト内の情報コーナーにも
是非お立ち寄りください。



リレー・フォー・ライフ・ ジャパン 2013 いわて

財団法人日本対がん協会/リレー・フォー・ライフ・ジャパンいわて実行委員会では、「一人じゃない～がんに負けない未来に向けて～」をテーマにチャリティーイベントを開催します。

【日時】平成 25 年 9 月 14 日 (土)～9 月 15 日 (日)
開幕：正午/閉幕：正午
【場所】一関遊水地記念緑地公園
【料金】参加費 500 円
【問合せ】一関病院内 RFL いわて実行委員会 事務局
【電話】0191-21-0554

いちのせき 市民活動センター

センターの連絡先はこちら



住所：一関市大町 4-29
なのはなプラザ4F
電話：0191-26-6400
FAX：0191-26-6415
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：6名

ホームページ：<http://www.center-i.org/>

せんまやサテライト

サテライトの連絡先はこちら



住所：千厩町千厩字町 149
電話：0191-48-3735
FAX：0191-48-3736
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：4名

メール：center-i@tempo.ocn.ne.jp

FMあすも

小野寺副センター長出演の、「子育て地域育てのコーナー」(毎週水曜日、11時半～)の一部を紹介します。

◆8月7日放送「限界集落について」

限界集落とは、集落人口のうち 65 歳以上の人口が 50%を超える状態を指しますが、現在、大東・千厩では当てはまる集落が一つもありません。代わりに、55 歳以上の人口が 50%を超える「準限界集落」に当てはまる所は多くありました。数値的な面だけでみれば、10 年後は限界集落になると見込まれます。一度「限界集落」について、しっかり考える機会をつくってみませんか？



9月のまちのお知らせ

1	第27回コーラスいわいフェスティバル(東山) 室根高原牧場まつり(室根) 第19回北上川流域交流Eポート大会(川崎)	16	
2		17	
3	西村由紀江ピアノコンサート(東山)	18	
4	わたしの主張「一関東大会」(川崎)	19	
5		20	
6		21	
7		22	
8	第2回ではってみっぺす・みでみっぺす素人演芸会(藤沢) 花泉フェスタ&消防祭(花泉)	23	
9		24	
10	夏バテ対策ヨガ交流会(川崎)	25	
11	音楽療法で交流♪(川崎)	26	
12		27	オープン講座(川崎)
13		28	
14	第240回せんまや夜市(千厩)	29	
15	摺沢秋祭り(大東) 2013スポーツランドフェスティバル(藤沢) 金沢大名行列(花泉)	30	

お知らせ

◆市内の行政区長さん・自治会長さんを対象に、取材を行っています。

いちのせき市民活動センターでは、市内各地域のことをより深く知り、今後の活動へ活かすことを目的に、それぞれの地域の特色(人・活動・資源・魅力・課題・環境・産業等)を区長さん、または自治会長さんに聞いて歩く取材をしています。

市内の全行政区・自治会を取材する予定ですので、地域担当のスタッフから取材連絡を受けた際は、どうぞよろしくお願い致します。

今月の表紙



この写真は、「千厩着物虫干し会」が主催の、イベントの告知で使用するために撮影されました。着物を着ている人を見ると、改めて、日本の着物文化は美しいと感じますね。

編集後記

9月になりました。稲穂がすくすく成長していますね・・・食べることが大好きな私は、お米の収穫がとても楽しみです。まだまだ、暑い日が続きますが、こまめに水分補給し体調を整えてお過ごしください。



Q1 「まちづくり」という言葉をよく聞くようになりました。まちづくりの基本となるポイントは何でしょうか？

A1 多様な視点でまちの中の宝物を探し、見つめ、それに磨きをかけることです。
あなたの「知りたい」に、担当スタッフが答えます。